プレスリリース

報道関係者各位

2026 年 11 月 24 日

株式会社ワーク・ライフバランス

創業 20 周年記念イベントを開催、閣僚・与野党議員や経済界が集結
代表 小室淑恵が割増賃金率 1.5 倍への法改正に挑戦を表明

～働き方改革を推進した企業・自治体・記者を 6 部門で表彰～

2006 年創業以来、働き方改革コンサルティングを提供する株式会社ワーク・ライフバランス（本社：東京都港区、代表取締役社長：小室 淑恵、以下「当社」）は、2026 年 11 月 16 日（月）、ザ・キャピトルホテル東急にて創業 20 周年記念イベント「日本の未来を輝かせる働き方を語る集い」を開催しました。

当日は、上野賢一郎 厚生労働大臣、山下貴司 法務大臣・内閣府特命担当大臣（男女共同参画）・女性活躍担当をはじめ、与野党の国会議員、経済団体・企業の経営者、自治体首長など多数の来賓が出席しました。働き方改革を推し進めた企業・団体・自治体や、働き方の課題を発信してきた報道関係者を「男性育休推進賞」「女性活躍推進賞」「働き方改革賞」など全 6 部門で表彰したほか、当社代表取締役社長 小室淑恵が「次の 20 年」に向けて、時間外労働（月 60 時間以下）の割増賃金率を 1.25 倍から 1.5 倍へ引き上げる法改正に挑戦する方針を発表しました。



（参考）20 周年記念ドキュメンタリー「20 年で 3,600 社以上支援／オンワード・豊田鉄工・高知県庁…働き方改革は業績を犠牲にしない」https://youtu.be/MiKJH56AtHw

代表 小室淑恵、割増賃金率 1.5 倍への法改正に挑戦する方針を発表

小室は、20 年間で 3,600 社以上を支援する中で、企業が実践を通じて示した「女性の活躍」「出生率の向上」「業績の向上」というエビデンスが社会と法制度を動かしてきたと振り返りました。そのうえで、人口減少局面の日本では、男性の長時間労働に依存するモデルから、夫婦がともに働き育児・家事を担うモデルへの転換が不可欠であり、その鍵は「男性の働き方改革」にあると指摘しました。今後も一社でも多くの企業・自治体に伴走して働き方改革を実行し、心理的安全性の高い組織づくりを支援していくとしたうえで、社会全体の変化を加速させるため、法改正に挑戦する方針を示しました。

小室は、既存社員に残業させるよりも新たに人を雇用した方が安くなる水準を示す「均衡割増賃金率」を紹介し、日本では月 60 時間以下の時間外労働の割増賃金率が 1.25 倍にとどまることが残業を生みやすい構造をつくり、少子化の一因となっていると指摘しました。割増賃金率を 1.5 倍に引き上げれば、月 30 時間残業していた人が 22 時間の残業で同水準の手取りを得られ、生まれた 8 時間を育児に充てられるとの試算を示し、出席した政治家に法改正への協力を呼びかけました。また、本件は経済界が一丸となって取り組むべき課題であるとして、当社が一般社団法人日本経済団体連合会（経団連）の幹事企業に就任することを報告しました（経済同友会幹事、東京商工会議所会員）。

閉会挨拶では、自身も家族の看病や介護などで働ける時間が限られた経験を明かし、経営者も含めワーク・ライフバランスがあるからこそ成果を出し続けられる社会を目指すとして、「働き方改革加速宣言」への参加を呼びかけました。





社会変革を推し進めた企業・団体・個人を 6 部門で表彰

記念表彰では、当社社員が受賞理由を紹介し、プレゼンターを務めた国会議員などから記念盾・記念パネルが授与されました。各賞の受賞者は以下のとおりです（敬称略）。

1. 男性育休推進賞

男性の育児休業取得を組織全体で後押しし、育児と仕事を両立できる職場文化と、互いに支え合う体制を築いた企業・団体に贈る賞です。（プレゼンター：衆議院議員 和田義明、参議院議員 松川るい）

- 大王製紙株式会社
- JR 東日本メカトロニクス株式会社
- 株式会社シップス
- セントワークス株式会社
- 富山県
- ミサワホーム株式会社
- 株式会社みずほフィナンシャルグループ／株式会社みずほ銀行／みずほ信託銀行株式会社／みずほ証券株式会社

2. 女性活躍推進賞

女性一人ひとりの可能性をひらき、多様な経験や視点を生かして、誰もが力を発揮し活躍できる社会・組織づくりを進めた企業・団体に贈る賞です。（プレゼンター：法務大臣・内閣府特命担当大臣（男女共同参画）・女性活躍担当 山下貴司）

- パシフィックコンサルタンツ株式会社
- 株式会社イー・ウーマン
- スリール株式会社
- 東大和市
- 株式会社ベアーズ

3. 中小企業働き方改革賞

限られた人員や経営資源の中で創意工夫を重ね、生産性と働きやすさを高め、働く人と企業がともに成長する経営を実現した中小企業に贈る賞です。（プレゼンター：衆議院議員 福田達夫、参議院議員 上月良祐）

- 沼田土建株式会社
- えびの電子工業株式会社
- 一般社団法人建設産業専門団体連合会
- 信幸プロテック株式会社
- CENTRIC 株式会社 和歌山支店
- フクヤ建設株式会社
- 株式会社ベアレン醸造所
- 丸秀醤油株式会社
- 山崎醸造株式会社

4. WLB（ワーク・ライフバランス）ジャーナリスト賞

働き方に関する社会課題や現場の声を、丁寧な取材と継続的な発信によって広く届け、社会の理解や行動を促してきた方に贈る賞です。（プレゼンター：衆議院議員 平将明、衆議院議員 玉木雄一郎、衆議院議員 重徳和彦）

- ジャーナリスト　浜田敬子
- BuzzFeed Japan 株式会社 ハフポスト日本版 シニアエディトリアルリード　相本啓太
- 株式会社テレビ東京 経営企画局 広報 IR 部　石井真知子
- BuzzFeed Japan 株式会社 ハフポスト日本版 編集長　泉谷由梨子
- 株式会社日本経済新聞社 部次長　井上孝之
- 株式会社朝日新聞社 経済部 次長　岡林佐和
- 株式会社 NewsPicks Studios New Business Division Leader／NewsPicks for WE 編集長　川口あい
- 株式会社日本経済新聞社 編集 金融・市場ユニット 市場グループ　川本和佳英
- 株式会社フジ・メディア・ホールディングス コンプライアンス推進部　岸田花子
- 株式会社時事通信社 政治部 記者　近藤碧
- 昭和女子大学 客員教授　白河桃子
- ジャーナリスト　大門小百合
- キャスター　長野智子
- 株式会社朝日新聞社 経済部 労働チームキャップ　南日慶子
- 日本テレビ放送網株式会社 報道局 社会部 解説委員　庭野めぐみ
- 株式会社テレビ朝日 ABEMA「わたしとニュース」プロデューサー　溝上由夏
- ジャーナリスト　山本恵子

5. 働き方改革賞

組織全体の働き方を見直し、各社が抱える課題を解決するとともに、業績向上を実現した企業・団体に贈る賞です。（プレゼンター：衆議院議員 泉健太、衆議院議員 浅野哲）

- 株式会社オンワードホールディングス
- 石井食品株式会社
- 大塚倉庫株式会社
- 株式会社オーテック
- 株式会社大本組
- 埼玉県教育委員会
- サイボウズ株式会社
- 株式会社サカタ製作所
- 新菱冷熱工業株式会社
- 株式会社テレビ新潟放送網
- 東亜建設工業株式会社
- 豊田通商株式会社
- 豊田鉄工株式会社
- 日本ファブテック株式会社
- 株式会社ホリプロ・グループ・ホールディングス
- 三井住友海上火災保険株式会社

6. 特別賞：時間外割増率 1.5 倍挑戦賞

時間外勤務の割増率を 1.5 倍に引き上げる先進的な取り組みを通じて、長時間労働の抑制と、人の時間を大切にする経営への強い決意を示したことを称える賞です。（プレゼンター：衆議院議員 田畑裕明）

- 高知県

特別賞「時間外割増率 1.5 倍挑戦賞」を受賞した高知県は、2026 年度の 1 年間、試行的に県職員の時間外勤務の割増率を 1.25 倍から 1.5 倍に引き上げています。また、週 30 時間勤務で働ける正職員の採用という全国初の取り組みでは、5 人の採用枠に 100 人の応募が集まりました。濱田省司知事は、目標の約 17%を上回る約 25%の時間外勤務削減を半年間で実現していると報告しました。

このほか、猪口邦子 参議院議員（元少子化・男女共同参画担当大臣）から小室へ「社会改革リーダー賞」が贈られました。















閣僚・与野党議員が祝辞、政治の現場での働き方改革の実践にも言及

上野賢一郎 厚生労働大臣は、国の審議会で勤務間インターバルや「つながらない権利」などを議論していると紹介し、当社の取り組み事例も参考に環境整備を進める考えを示しました。乾杯の発声を務めた加藤勝信 前財務大臣（初代働き方改革担当大臣）は、当社が提唱してきた勤務間インターバルが法律上の努力義務となり、義務化も議論されていることを挙げ、当社の取り組みを評価しました。





また来賓からは、国会や行政、選挙といった政治の現場でも自ら働き方を変えていくとの発言が相次ぎました。

- 浅野哲 衆議院議員（国民民主党 副代表）：議員秘書の働き方改革に向けて当社と打ち合わせを行ったことを明かし、日本一秘書が輝ける事務所を目指すと表明
- 泉健太 衆議院議員：当社とともに国会議員の質問レクの短時間化に取り組んできたとし、民間の努力に学んで国会側も改善を進めたいと発言
- 玉木雄一郎 衆議院議員（国民民主党 代表）：夜間の会合を前提とする選挙文化を変える「選挙の戦い方改革」の必要性を提起
- 平将明 衆議院議員：成果を定量的に評価する仕組みなど、国会議員の働き方改革への協力を要請
- 黄川田仁志 衆議院議員（前こども政策担当大臣）：大臣在任中、当社の指摘を受けてこども家庭庁の働き方を改善する仕組みを整えたことを紹介
- 上月良祐 参議院議員：かつては「ワークワークワーク」でよいと考えていたが、働き方を変える必要性を認識したと発言

開催概要

- 名称：株式会社ワーク・ライフバランス創業 20 周年記念イベント「日本の未来を輝かせる働き方を語る集い」
- 開催日時：2026 年 11 月 16 日（月）18 時～20 時
- 会場：ザ・キャピトルホテル東急
- 主催：株式会社ワーク・ライフバランス
- 主なプログラム：代表挨拶、来賓祝辞・乾杯、記念表彰（6 部門）、20 年の歩みを振り返る映像上映、代表スピーチ「次の 20 年に向けて」、社会改革リーダー賞授与、閉会挨拶
- 主な登壇来賓（登壇順、敬称略）：
  - 上野賢一郎　厚生労働大臣
  - 加藤勝信　衆議院議員（自由民主党）、前財務大臣、初代働き方改革担当大臣
  - 鈴木英敬　総務副大臣、前三重県知事
  - 山口明夫　公益社団法人経済同友会 代表幹事、日本アイ・ビー・エム株式会社 代表取締役会長
  - 和田義明　衆議院議員（自由民主党）
  - 松川るい　参議院議員（自由民主党）
  - 古川元久　衆議院議員（国民民主党 代表代行）、元国家戦略担当大臣
  - 柴山昌彦　衆議院議員（自由民主党）、元文部科学大臣
  - 辻元清美　参議院議員（立憲民主党）、元国土交通副大臣
  - 山下貴司　法務大臣、内閣府特命担当大臣（男女共同参画）、女性活躍担当
  - 森まさこ　参議院議員（自由民主党）、元法務大臣、元少子化対策担当大臣

- 福田達夫　衆議院議員（自由民主党 中小企業・小規模事業者政策調査会長）
- 上月良祐　参議院議員
- 浅尾慶一郎　参議院議員（自由民主党）、元環境大臣
- 黄川田仁志　衆議院議員（自由民主党）、前こども政策担当大臣
- 平将明　衆議院議員、元デジタル大臣
- 玉木雄一郎　衆議院議員（国民民主党 代表）
- 重徳和彦　衆議院議員（民主改革の会 幹事長代理）
- 竹谷とし子　参議院議員（公明党 代表代行）
- 泉健太　衆議院議員
- 浅野哲　衆議院議員（国民民主党 副代表）
- 田畑裕明　衆議院議員（自由民主党 政務調査会副会長）
- 濱田省司　高知県知事
- 猪口邦子　参議院議員、元少子化・男女共同参画担当大臣



取材・写真提供のご希望

報道関係者で、本件に関する取材や当日の写真・映像素材の提供をご希望の場合は、以下までお問い合わせください。

- 株式会社ワーク・ライフバランス　広報担当　田村（たむら）
  メールアドレス：media@work-life-b.com
  携帯：080-3347-3081（田村）

株式会社ワーク・ライフバランスについて

2006 年創業以来、企業の働き方改革により業績と従業員のモチベーションの双方を向上させることにこだわり、働き方改革コンサルティング事業を中心に展開。これまでに自治体・官公庁も含め企業 3,600 社以上を支援。
残業 30%削減に成功し、営業利益 18%増加した企業や、残業 81%削減し有給取得率 4 倍、利益率 3 倍になった企業など、長時間労働体質の企業への組織改革が強み。



会社名：株式会社ワーク・ライフバランス
代表者：代表取締役社長 小室 淑恵
サイト：https://work-life-b.co.jp/
創立年月：2006 年 7 月
資本金：1,000 万円

主な事業内容：
働き方改革コンサルティング事業・講演・研修事業・コンテンツビジネス事業・コンサルタント養成事業・働き方改革支援のための IT サービス開発・提供・「朝メールドットコム®」「ワーク・ライフバランス組織診断」「介護と仕事の両立ナビ®」・カードゲーム体験型研修「ライフ・スイッチ®」
実績：3,600 社以上（国土交通省、鹿島建設中部支店、住友生命保険相互会社、株式会社アイシン、内閣府、三重県、埼玉県教育委員会など）

・代表 小室 淑恵プロフィール
2014 年 9 月より安倍内閣「産業競争力会議」民間議員を務め、働き方改革関連法案施行に向けて活動し、2019 年の国会審議で答弁。2019 年 4 月の施行に貢献。国政とビジネスサイドの両面から働き方改革を推進している。年間 200 回の講演依頼を受けながら、自身も残業ゼロ、二児の母として

＜本件に関する報道関係者様からのお問合せ先＞
株式会社ワーク・ライフバランス　広報　田村（たむら）
TEL：03-5730-3081　／　Mobile：080-3347-3081　／　Email： media@work-life-b.com